

Ⅲ 第3期岡山市教育振興基本計画令和4年度アクションプランにおける主な事業

1 岡山市の教育理念を実現するための6つの政策

本市では、岡山市市民協働による自立する子どもの育成を推進する条例（愛称：岡山っ子育成条例）第8条に掲げた市の責務を計画的かつ効果的に履行することで、条例に掲げた教育理念の実現を図るため、平成25年1月に第1期岡山市教育振興基本計画を策定しました。また、本市の全体計画である総合計画や学習指導要領の改訂など教育全体を取り巻く環境も変わってきたことを受け、平成29年には第2期岡山市教育振興基本計画を策定し、教育行政を展開してきました。

予測が困難な時代にあつて、子どもを取り巻く環境は急速かつ大きく変化してきており、それに伴って子どもに必要とされる資質・能力も変化しています。

そこで、これまでの取組を見直すとともに、第2期岡山市教育大綱に則す内容として、令和4年策定の第3期岡山市教育振興基本計画では、様々な変化に積極的に向き合い、多様な人々と協働しながら課題を解決していく子ども、情報を活用したり、自分で考え、表現したりすることができる子どもの育成を目指すこととしました。

今年度から、この新たな計画に基づいて教育行政を展開し、引き続き本市が目指す教育理念の実現に向け取組を進めていきます。



【政策1】主体的な学びの推進による確かな学力

の育成

確かな学力の育成を目指し、発達段階に応じた継続的な学習指導や支援を通して、子どもが主体的に自分の考えを表現したり、理由を説明したりする学習活動の充実を図ります。また、ICTや図書資料等を効果的に活用する授業を推進し、情報活用能力の育成やグローバル化等に対応した英語教育等の充実を図ります。さらには、地域人材を活用して探究的な学習を進めるなど、家庭や地域社会と連携して子どもの豊かな学びを育む教育活動を進めます。



【政策2】人や自然、文化との関わりを通じた豊かな心の育成



豊かな自然環境や文化芸術に触れる体験活動、道徳科の授業等を通して、思いやりの心や規範意識、向上心を育成するとともに、地域の一員としての意識を育みます。また、地域の自然や歴史への興味・関心を高めるために文化財や美術館の活用、保存・整備を進めます。さらには、キャリア教育を進め、社会人としてのマナー等を身に付け、自分らしい生き方を実現するための資質・能力を育成します。

【政策3】健康教育の充実による健やかな体の育成



体力・運動能力の向上を図るとともに、健康で安全な生活を送ろうとする態度を養うために、日常的で自発的な運動習慣の定着や安全教育の充実を図ります。また、計画的に食育を推進するとともに、貧血などに関する客観的な数値を示して自らの生活を見直すなど、家庭や地域社会と連携しながら、より良い食習慣・生活習慣の定着を図ります。

【政策4】一人一人の育ちを支える指導・支援の充実

安心して学び合うことができる集団づくりや仲間づくりを進め、子どもが「学校が楽しい」と思える基盤づくりや、問題行動等の未然防止に取り組みます。

また、多様な背景をもつなど、支援や配慮を必要とする子どもが安心して学校生活を送ることができるよう、関係機関と連携し、専門的な相談ができる体制づくりや校内の支援体制の充実を進めます。



【政策5】学校園の教育環境の充実



教職員の資質・能力向上に資するため、教職員研修の充実を図るとともに、若手教職員の授業力等の向上に係る取組を推進します。また、教職員が、教材研究などに専念する時間や、子ども一人一人と向き合う時間を確保できるよう、教職員への支援体制を充実させます。あわせて、子どもたちの多様な学びの機会を保障し、質の高い教育を目指すため、ICT環境の充実など、より良い教育環境の整備を行います。

【政策6】家庭、地域社会の教育環境の充実

家庭教育に関する学習機会の提供、家庭教育支援団体相互のネットワーク強化などを通して、家庭教育を支援し、家庭における教育力の向上を図ります。また、学校支援ボランティアの活動を充実するなど、地域ぐるみで学校園を支える体制づくりを進めるとともに、地域の多様な人々と連携し、学びを通じた持続可能な地域づくりの取組の充実を図ります。さらには、家庭、学校園、地域社会が協働して、未来を担う子どもを持続的に育てていくことができるよう、学校運営協議会の役割の理解促進と協議会の活性化に努めます。



「中学校区を単位とした学校園一貫教育～岡山型一貫教育～」と「岡山市地域協働学校」を2つの柱として

6つの政策で自立に向かって成長する子どもを育成します



3 主な事業

目指す子どもの育成に向けて、令和4年度に特に重点的に取り組むことについて紹介します。

「自立に向かって成長する子ども」を、第2期岡山市教育大綱で示された「自らの個性を磨き、選択と挑戦を繰り返すことができる子ども」と重ね合わせ、6つの政策を推進します。

6つの政策における重点的な取組

政策1

主体的な学びの推進による確かな学力の育成

- 発達段階に応じた継続的な学習指導・支援
- 情報活用能力や英語力の向上
- 基礎・基本の定着を図る支援や学ぶ機会の充実

政策2

人や自然、文化との関わりを通じた豊かな心の育成

- 道徳教育の充実
- 文化や自然体験の充実
- キャリア教育の推進

政策3

健康教育の充実による健やかな体の育成

- 日常的で自発的な運動習慣の確立
- より良い食習慣の定着を図る食育の推進

政策4

一人一人の育ちを支える指導・支援の充実

- 個に応じた支援と集団づくりの充実
- 関係機関との連携による支援体制の充実

政策5

学校園の教育環境の充実

- 教職員の資質・能力に資する研修の充実
- 学習環境・安全に配慮した教育環境の整備
- 多様な学びの機会と質の高い教育を目指すためのICT等の整備

政策6

家庭、地域社会の教育環境の充実

- 学校運営協議会の役割の理解促進と協議会の活性化
- 学校運営協議会との連携による地域学校協働活動の活性化

事業の一部を紹介しします！

魅力ある授業づくり推進事業

学力調査や質問紙調査を効果的に活用して学習指導と生徒指導の両面から児童生徒を理解し、よりよい授業づくりを進めることで、子どもの力を育成します。

- ・学びづくり推進プロジェクト
- ・英語教育推進事業

問題行動等の防止及び解決に向けた総合支援事業

支援を必要とする子どもやその保護者に対して相談や援助を行うことで、子どもたちが安心して学校生活を送ることができるようにします。

- ・生徒指導関係事業
- ・特別支援教育支援員配置事業
- ・不登校児童生徒支援員配置事業
- ・スクールカウンセラー配置事業

GIGAスクール構想によるICT活用支援事業

GIGAスクール構想で整備した1人1台端末等、ICTの円滑な活用が行われるようにするための人的支援や運用支援を行い、子どもの情報活用能力向上を図ります。





- ・ICTを基盤とした情報活用能力向上事業
- ・ICT活用指導力向上事業
- ・ICT環境整備事業

地域と学校協働活動推進事業

「地域未来塾」の取組によって、小中学生を対象に、地域住民の協力による学習支援を行うことで、子どもと地域の大人がつながる場をつくるとともに、地域全体で地域の将来を担う子どもの力を育成します。

第2期岡山市教育大綱

育む5つの力

	情報を収集して、解釈したり活用したりする力
	自分の思っていることや考えたことを、他者に分かりやすく伝える力
	何事に対しても、粘り強く取り組み、乗り越える力
	立場や意見が違う相手とも協力し、より良いものにしようとする力
	命を大切に、自他の人権を尊重し、お互いの個性を認め合う心、他人を思いやる心

5つの力の基礎としての2つの目標

全国平均レベル以上の学力	新規不登校児童生徒の減少
--------------	--------------

目指す子ども

自立に向かって成長する子ども
自らの個性を磨き、選択と挑戦を繰り返すことができる子ども

